

学校教育目標 自主・不屈・友愛の精神を身に付け、未来を創る生徒の育成



学校報「三中の木」



令和7年1月14日(火)
第19号 文責: 校長 工藤 真弘
TEL: 52-5138

三学期は、一人一人にとって中身の濃い学期です

新年が明け三学期がスタートしました。1年間の締めくくり、3年生にとっては中学校生活3年間そして義務教育の課程9年間の締めくくりです。生徒一人一人が力を蓄え、力を発揮できる中身の濃い三学期になるよう、引き続きご協力をお願いします。

本日の始業式で生徒たちに次のようなお話をしました。

【始業式の校長の言葉より抜粋】

年の初めですので、これまで何度も伝えてきた言葉を改めて確認したいと思います。これからは、変化を自分たちで創り出し、社会を自分たちで変化させ、未来を自分たちで創り出す時代です。キーワードはみんなで創り出す、つまり「協働」と「創出」です。変化を創る力は自分自身の未来を創る力でもあります。私は二中の校長になってから、変化を創り未来を創る人材が育つ学校を目指してきました。

昨年の秋のことです。数人の3年生と能代のまちづくりに関わる方々の話をしていた際、私が「こうやってみんなでゼロから何かを創り上げるってすごいことだよね」と言ったら、そのうちの一人が「校長先生、私たちはそれを1年生から3年間やってきたんですよ」と答えたのです。何気ない会話の中で、生徒が「協働」と「創出」を自分の学びとして言い切る、的のど真ん中を射貫くような言葉に不意を突かれ、泣きそうになってしまいました。とりわけ感動したのは、「1年生から」と言ってくれたところです。入学して1年目であっても、二中生として目指すべき方向を自覚してくれていたのです。こういう思いや姿が、先輩から後輩へしっかりと受け継がれていることが、今の二中生の素晴らしいです。一人一人が自分の成長を振り返りながら力を蓄える、力を発揮する三学期にしてほしいと思います。

1年生は、4月から頼りになる先輩になれると思います。どんな先輩になりたいか、イメージしながら力を蓄える三学期にしてください。2年生、いよいよ3年生からリーダーのバトンタッチです。自分たちががんばっていくんだという心意気は十分伝わってきています。三学期、どんな成長を見てくれるか楽しみにしています。3年生は、3年間培ってきた力を自分の未来を創るために発揮する時がきました。お互い声を掛け合い、励まし合いながら、ゴールに向かってほしいと思います。

全校の皆さん、春に向かう三学期です。「自主、不屈、友愛」の校訓を心に抱き、1年間の締めくくり、3年生にとっては中学校最後の締めくくりに相応しい三学期になることを期待しています。応援しています。

裏へ→

第68回県中学校スキー大会 五十嵐利枝さん全国大会へ

回転：5位（東北・全国大会出場権獲得） 大回転：5位（東北大会出場権獲得）

第47回県アンサンブルコンテスト

銅賞 トランペット四重奏

渡部 宏翔 平塚 正宗 菱川 善太 藤盛 結愛